

高病原性鳥インフルエンザが 全国で続発しています！！

12月15日、青森県三沢市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。

国内の農場や家きん飼養施設におけるHPAIの発生は今シーズン35例目となり、青森県では2例目の発生です。

また、野鳥で110例、飼養鳥で4例、HPAIウイルス陽性が確認されています(12月14日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策と異常発見時の早期通報をお願いします。

今シーズンのHPAI発生状況

